

# 会報

## ◇奈良大学史学会総会

七月二二日(月)、本学において奈良大学史学会総会が開催されました。二〇二三年度の決算・会計監査報告および事業報告が行われ、つづいて、二〇二四年度の役員人事案・事業計画案とそれにもなう予算案が提案され、それぞれ原案どおり承認されました。

## 《二〇二四年度役員》

▽会長

木下 光生

▽副会長

中戸 義雄

▽教員委員

(編集)

河内 将芳

(庶務・会計)

森川 正則

(庶務・交換)

木下 光生

(監査)

村上 紀夫

山口 育人

▽学生委員

(代表)

豊田 美結

(副代表)

増岡 大勢

(青垣祭実行局長)

山本 大喜

(広報局長)

小貫 翔伍

(会計局長)

眞浦 龍

(一回生委員)

柿沼 遼太

梶清 有希

川地由季乃

河西 太陽

下濱穂乃華

牧田 華奈

山口 桃香

## ◇特別講義

・二〇二四年七月二二日、史学会総会に引き続き特別講義が行われました。

吉田 豊先生(京都大学名誉教授)

「ソグド人の歴史とソグド語史料」

・二〇二五年一月二〇日、特別講義が行われました。

村上 信一郎先生(神戸市外国語大学名誉教授)

「私のイタリア・ファシズム研究と日本現代史への問

いかけ」

#### ◇大学院特別講義

・二〇二四年一二月二〇日

熊谷 公男先生(東北学院大学名誉教授)

「大化後の立評と古代国家北辺地域における支配体制の転換」

#### ◇青垣祭

二〇二四年一月三日・四日、第五回青垣祭が行われました。在校生のみならず、近年の卒業生や受験生と保護者、そして一般の方と多くの方々にお越しいただきました。今年度の展示テーマは、「お酒の歴史」でした。日本酒、ビール、ウイスキーの歴史を取り上げました。また、同時に「古文書体験コーナー」を開催しました。そして、史学会学生委員の活動内容について記した冊子を配布しました。

オープンキャンパスでお越しいただいた受験生や保護者の皆様に史学科の説明なども行ないました。

来年度の青垣祭も今年度と同様に、親しみやすいテーマのもとで展示を行ないたいと考えています。

#### ◇史学会体験ツアー

今年度は一二月一日に史学会体験ツアーを開催しました。多数の史学科学生に参加していただきました。紅葉シーズンに合わせ、京都の嵐山に行きました。宝厳院や天龍寺、



メインストリートを散策しました。

来年度の史学会ツアーも歴史を学べ、楽しく観光できる  
場所で開催したいと考えています。



#### ◇会員消息

- ・ 川本正知教授が三月三十一日付で定年退職された。
- ・ 奈良大学文学部史学科監修のブックレット『史料から  
広がる世界』（ナカニシヤ出版）が六月に刊行された。



- ・ 二月二十六日～三月四日に横山香教授・足立広明教授引  
率のドイツ海外研修が行われた。

- ・ 木下光生教授が『日本史研究』七三七号（二〇二四年一月）  
に研究展望「顔の見える安心感のある比較史へ―飯田  
恭著『農場と森林のプロイセン史』の書評を通して―」  
を発表した。

- ・木下光生教授が目録・解題を執筆した奈良大学文学部史学科・奈良県山添村教育委員会編『山辺郡山添村大字勝原 古文書 調査報告書 下浦家文書目録・解題 山添村文化財調査報告書 第5集』が刊行された。
- ・奈良大学文学部史学科・奈良県文化財保存課が共同で行なった『令和四年度・五年度奈良県内古文書所在確認調査報告書』が刊行された。
- ・足立広明教授がオックスフォード大学エグザムスクールで開催された第一九回国際教父学会にて研究発表を行なった。
- ・足立広明教授が東方キリスト教会大会にて研究発表を行なった。
- ・足立広明教授が共著『西洋中世文化事典』（西洋中世学会編、丸善出版）を一月に刊行した。
- ・村上紀夫教授が第七八回日本人類学会大会公開シンポジウム「分野横断的な研究手法から探る、近世大坂都市住民の生活・病氣・死」にて研究発表を行なった。
- ・村上紀夫教授が日本民俗学会第七六回年会、京都民俗学会第四三回年次研究大会にて研究発表を行なった。
- ・村上紀夫教授が共著『怪異から妖怪へ』（東アジア怪異

- 学会編、文学通信）を二月に刊行した。
- ・高橋博子教授が司会をした二〇二四年度第二回日本「グウォッシュ会議公開講座」核時代における非戦」が開催された。
- ・外岡慎一郎教授が寄稿した『関ヶ原研究会寄稿集』（岐阜関ヶ原古戦場記念館）が刊行された。
- ・宮本亮一准教授が『帝京大学文化財研究所研究報告集』第二二集（二〇二四年三月）に「エチエンヌ・ドゥ・ラ・ヴェシエール著（宮本亮一訳）玄奘の旅程に関する覚え書き」を発表した。